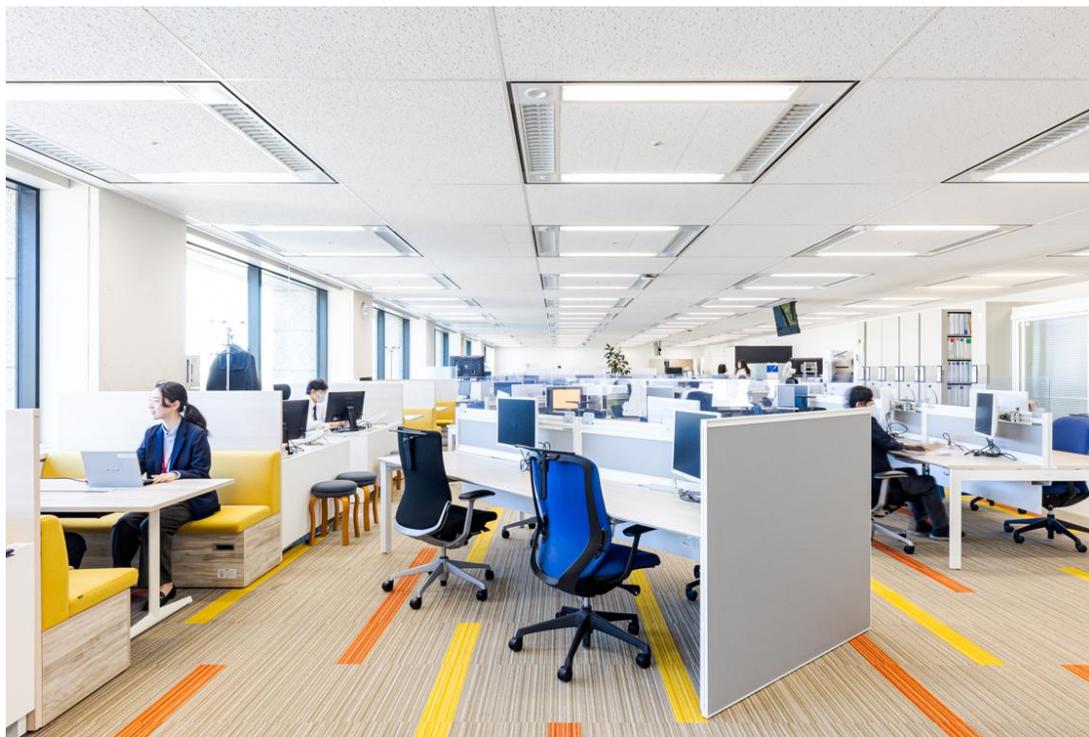


ABWを実践 部内交流を促すワクワクオフィス



執務スペース

フリーアドレスを導入することで、部門内の交流を促し、情報の共有化や業務連携の強化へ。整理整頓が習慣化され、ペーパーレス化やクリーンデスクの保持にもつながる。

国土交通省総合政策局政策立案総括審議官グループは、働き方改革に伴うオフィス環境の改善にR2年度より段階的に取り組み、R5年度末に内装工事を含めた全面改装が完了しました。

今回の整備では、業務内容やコンディションに合わせ働く場所を選択する、ABW(Activity Based Working)を実現する様々な取り組みがなされています。自席を固定化しないフリーアドレスに加え、ワークブース・ファミレスブース、集中スペースなどの多様な機能空間が整備されており、職員は在宅勤務を含め、主体的に働く場所を選択し業務の効率化を図っています。

また、フロア中央部に業務やりフレッシュに利用できる「交流スペース」を設けました。内装・家具には明るい配色を採用しバランスボールを配置するなど、これまでのオフィスにはない遊び心を加えることで、オープンでカジュアルな雰囲気を出し、職員の交流を促しています。



受付 秘書執務席をパーティションで囲い、天板を設置し受付カウンターとして利用。自席業務と受付対応が効率的に実施できる。



執務スペース

業務内容によりモバイルPCとサブモニターを活用することで、業務の効率化や印刷物を極力減らしペーパーレス化につなげる。

加えて、文書削減やペーパーレス化の推進、無線LAN・モバイルPC・サブモニターの整備、PHS支給、office365導入など(スケジュール管理・チャット・電話機能他)、ICT環境やソフト面が整備されていることは、働き方の自由度を高める大きな要素となり相乗効果を生み出しています。

令和 6 年 3 月現在

プロジェクトの詳細

改修完了 対象人員	: 令和6年3月29日 : 総合制作局 政策立案総括審議官 グループ 約120人
対象面積 委託業務	: 954.37㎡ : なし



オカムラHPでも
ご覧いただけます

ABWを実践 部内交流を促すワクワクオフィス



役職者席

L型の机上面とすることで、場所を移動することなく自席での簡易な打ち合わせが可能。



一般職席

一人当たりの机上面スペースをW1500D700、ハンガー付き椅子を採用。ワゴンレスの運用とし、手元書類はモバイルバックに収納し持ち運ぶ。

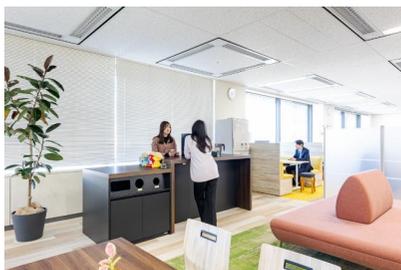


個人ロッカー

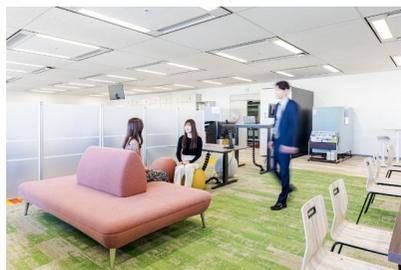
自席のワゴンを廃止し、モバイルロッカーに個人書類やPCを収納。PCやPHSなどを充電する電源コンセントや配布物の投函口を備えている。



交流スペース フロア中央に配置された交流スペース。テーブル席・上下昇降テーブル・ラウンドソファなど、さまざまなバリエーションを設け、約120名の職員が打ち合わせや休憩スペースとして共用することで、偶発的なコミュニケーションを促す。



交流スペース カフェを設置することで、職員が自然と寄り集まりリフレッシュスペースとなり交流が生まれる。観葉植物も配置して憩いの空間を演出。さらなる仕掛けとしてオフィスコンビニなどの設置も検討。



交流スペース 明るい配色のソファやバランスボールを導入するなど、これまでのオフィスにない遊び心を加えることで、オープンでカジュアルな雰囲気を出し、コミュニケーションの活性化につなげる。



フルクローズ型ワークブース

周囲からの音や打合せ内容の音漏れを気にせず、会話に集中することができる。WEB会議やペアワーク、1on1などにも活用。



半個室打ち合わせスペース

間口を広く確保できるスライド扉を採用。車椅子利用者を含め出入りがしやすく、扉の開閉時も通路の邪魔にならない。



ミーティングスペース

上下昇降テーブルを高く設定し体勢が変わることで、かしまることなくカジュアルな雰囲気を出し、活発な意見出しや会議の効率化につなげている。

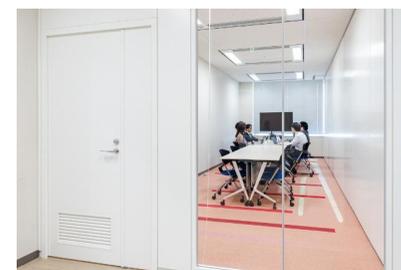


ファミレスブース

窓面に設置することで開放感を感じながらも、背面にパネルを設けることで周囲の視線を程よく遮ることができる打合せスペース。



集中スペース 周囲の視線を緩やかに遮り、個人の集中作業やWEB会議などに適したスペース。長時間の利用でも疲れにくいオフィスチェア席、ソファ席は緩和を促し、リラックスした気分で業務に臨めます。



会議室

間仕切りの一部をガラス仕様(ブラインド付)にすることで、閉塞感をやわらげることができる。スライディングウォールを採用し、会議室の大きさをフレキシブルに変えることが可能。